

「アルピノポリス慈善病院マンモグラフィ機器整備計画」

在リオデジャネイロ日本国総領事館及びアルピノポリス慈善病院は、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」に関する契約書の署名式を行いました。これを受けて、日本政府は、同慈善病院に対して、「マンモグラフィ機器」整備のための資金 54,545 米ドル（6,109,040 円相当）の無償資金協力をを行います。

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」契約書署名式

日 時：2019 年 1 月 16 日 9 時 30 分

場 所：在リオデジャネイロ日本国総領事館（リオデジャネイロ市）

署名者：在リオデジャネイロ日本国総領事館 星野芳隆総領事
アルピノポリス慈善病院 アマウリ・ジラス院長



「アルピノポリス慈善病院マンモグラフィ機器整備計画」

アルピノポリス慈善病院は、ミナスジェライス州南西部のアルピノポリス市にある創立 50 年の総合病院です。同病院は、同市及び周辺 4 市を代表する地域の総合病院であり、毎年約 9 万人の地域住民に対して医療サービスを提供しています。今回の資金協力を通じて、同病院に乳がん検診に必要なマンモグラフィ機器を整備し、地域医療機関の医療サービスの向上及び女性に対する医療環境の改善に貢献します。



署名式にて

（左から星野芳隆在リオデジャネイロ日本国総領事、アマウリ・ジラス・アルピノポリス慈善病院院長）

アルピノポリス慈善病院概況



アルピノポリス慈善病院



レントゲン室（マンモグラフィ設置予定場所）